

令和 8 年度 建設経済常任委員会行政視察日程（案）

項目 日程	視察市 (人口)	視察項目
<p>【第 1 日目】 8月19日(水) 午後</p>	<p>兵庫県 姫路市 (503,827人)</p>	<p>1 姫路駅周辺・大手前通りの整備について</p> <p>姫路市では、「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」を基本コンセプトとし、「便利で安全な歩行者空間の確保」、「シンボル景観と姫路らしい空間の演出」、「くつろぎ・にぎわい空間の創出」の3つの空間デザインの考え方のもと、駅前広場と駅ビルの再配置や一部のトランジットモール化等の姫路駅周辺の整備を行った。</p> <p>また、姫路駅前から姫路城の門までの約800メートルを結ぶ大手前通りについて、バスの乗り降りをスムーズに行うために、自転車・歩行者道を拡張したり、休憩スペース等を設置するなどの整備を行った。</p>
<p>【第 2 日目】 8月20日(木) 午前 【現地視察】</p>	<p>滋賀県 草津市 (141,490人)</p>	<p>1 アーバンデザインセンターびわこ・くさつについて</p> <p>草津市では、南草津エリアのまちづくりの拠点として平成28年10月に「アーバンデザインセンターびわこ・くさつ」を設置し、南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出やウォーカブルなまちづくり等を目指し、産学公民の多様な主体が連携し、中長期的な都市の在り方を考えるとともに、10年後、20年後を見据えたまちづくりを推進してきた。</p> <p>令和 7 年 9 月には法人化され、現在は一般社団法人アーバンデザインセンターみなくさとして、多様な主体の参画によるまちづくりを推進し、南草津エリアの魅力・価値向上や都市課題の解決に取り組んでいる。</p>
<p>【第 3 日目】 8月21日(金) 午前</p>	<p>岐阜県 岐阜市 (396,258人)</p>	<p>1 地域公共交通について</p> <p>岐阜市では、人口減少や高齢化が進行する中、運転手不足や安全対策などの課題に対する一つの解決策として、公共交通への自動運転技術の導入に向けて、段階的に取り組みを進めてきた。令和 5 年度からは、「自動運転バスがいつも走っているまち」の実現に向け、自動運転バスの 5 年間の継続運行の取組を行っている。</p> <p>また、地域住民と行政と公共交通事業者が一体となり、コミュニティバスの運行を行っているほか、接続バスを導入するなど、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指している。</p>